

一級自動車工学科・自動車整備科 2023年度

授業計画

時期	2年A巡	単元	実習	教科名	エンジン車両整備1		
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	・保護具（安全メガネ、グローブ） ・サーキットテスト		発行日	2023年4月1日	
総時限	18時限		・実習ノート（授業冒頭にて配布）		教科担当	橋本 白取	●■ ●■

1. 実務経験のある教員による授業科目 該当

自動車販売会社で備士としてエンジン本体、補機類について点検整備の実務経験のある教員により、エンジン整備、調整、点検方法について指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

1. 車載状態でのエンジン補機類及び電子制御部品の脱着を行い、車載状態でのエンジン整備を習得する。
2. V型エンジンの構成部品レイアウトを理解する。
3. ESMを使い、部品交換、必要部品の調査、交換後の点検調整作業を習得する。
4. CONSULT(コンサルト)ⅢPlusを使用しエンジン整備付帯作業を習得する。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか）

1. 車載状態においてベルト交換ができる。
2. 車載状態においてスタータ交換ができる。
3. ESMで必要な情報を素早く検索できる。
4. CONSULT(コンサルト)ⅢPlusの自己診断、作業サポート、アクティブテストができる。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

・実習履修試験での得点評価 ※本実習は技能要件項目に該当し80点以上で認定となる。

合格基準：整備科60点以上で合格、工学科70点以上で合格

評価の種類：『優』・『良』・『可』（履修）、『未』（未履修）の4段階で評価

評価基準：80点以上…『優』、整備科60点以上、工学科は70点以上…『良』

整備科60点未満、工学科70点未満…『未』（未履修）

再試験・判定試験で合格した場合は得点に関係なく…『可』

<出題試験項目> 実技項目：70点

筆記項目：30点

①オルネータ発電電圧可変制御システム点検

①ESM調査課題

②暗電流点検

(V型エンジンレイアウト、関係部品及び脱着手順)

③ベルト・スタータ脱着

④完成検査

5. 準備学習

1. 1年次にて脱着したセンサ及びアクチュエータの名称・作動・構造を振り返っておくこと。

※教科書 3級ガソリン・エンジン

※■⇒日産資格保持者

※●⇒実務経験がある教員

